

令和2年度 教育センターだより

かしの木

第2号
川越市立教育センター
TEL 235-7591
FAX 230-1023
e-mail kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp

教育センターでは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、研修会場を分散して行ったり、レポート作成をする机上研修としたり、e-研修会（オンラインでの研修）を行ったりするなど、例年の研修とは異なる対応をしております。

本号では、その中でも初任者研修、オンライン活用のためのICT研修会、特別活動研修会についてご紹介します。

初任者研修第3・4回機関研修

6月10日（水）に第3回、6月24日（水）第4回機関研修を教育センターの体育館にて開催しました。

第3回では、「生徒指導①」、「学習指導の基礎・基本①」について講義・演習を行いました。初任者は、いじめについての具体的な事例を挙げた講義を通じて、いじめを積極的に認知し、組織で対応することの重要性について理解を深めました。

第4回では、株式会社丸広百貨店から講師を招き、「コミュニケーションマナーについて」講義・演習を行いました。初任者は、教員も一社会人であることを再確認しました。また、「ストレスマネジメント」についての講義・演習では、ストレスに係る自己理解に取り組むことで、自身のストレス状況について向き合いました。さらに「学級経営の基礎・基本②」では、主に保護者対応についての具体的な方法について学びました。

＜初任者の感想より＞

この研修を通して「いじめ」の概念が変わりました。子ども一人一人との信頼関係を築くことを第一と考え、いじめの未然防止と早期発見、解消に努めていきます。

＜初任者の感想より＞

授業の中で、「めあて・見通し→学び合い→まとめ・振り返り」のサイクルをより意識していきたいと思いました。コロナ禍においても工夫して子ども同士の関わり、教師と子どもとの関わりを大切にしたいと思いました。



● 第2回オンライン活用のためのICT研修会

研修目的

●新型コロナウイルス感染症流行拡大の第2波・第3波に備えて、オンラインで教育活動や職務を実施できるよう技能の向上を図る。

6月5日（金）から6月12日（金）までの期間に第2回オンライン活用のためのICT研修会を開催しました。市内教職員79名が学校からオンラインで参加し、動画作成のポイント、インターネット上で公開する動画を作成する上での留意点、取組事例の紹介、今後のオンライン活用について研修を行いました。オンデマンドの動画視聴を研修としたことで、児童生徒が動画を視聴する体験を参加者が体験し、イメージを共有しました。また、芳野小学校、川越西小学校2校の取組事例を紹介しました。

＜小学校の参加者の感想より＞

教師が作成した動画は、自宅待機中でも学習を進められること、視覚で学ぶことができること、一時停止機能を使ったり、戻してもう一度確認できる点にオンラインならではの良さを感じました。普通の授業でも使えそうな動画を作りたいと思いました。

＜中学校の参加者の感想より＞

パワーポイントやビデオ撮影を用いて動画を作成することができること知り、身近に感じることができました。「動画だからできること」を考え、問かけや子どもが考える時間も考慮し、子どもたちが興味を持てるものを作成したいと思いました。

● 第1回特別活動研修会

研修目的

●新学習指導要領の理解を深め、各学校の特別活動を推進する。

8月5日（水）に第1回特別活動研修会を開催しました。市内教職員53名がオンライン又はサテライト会場にて参加しました。「キャリア教育の要としての特別活動の実践～なりたい自分に向けて努力し、自分らしい生き方の実現につなげる特別活動～」と題し、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官の安部恭子先生に遠隔地からオンラインで講義をしていただきました。参加者は、3密を避けた特別活動の具体的な指導事例や、本年度から小・中学校で実施されたキャリア・パスポートについての具体的な作成や活用方法等について理解を深めました。



＜参加者の感想より＞

道徳と特別活動は両輪というお話を聞き、やはり両方の関わりを意識しながら取り組むことが大切だと思いました。知識として学ぶことも大切だが、体得することも大切であるという視点、めあての明確化、振り返りを子どもたちに意識させていきたいと思いました。